

見本（抜粋）

内容は実際のものとは異なります

中央節電株式会社
本社ビル

節電診断報告書

【整理番号：SB120000】

平成 24 年 6 月

一般財団法人 **省エネルギーセンター**

診断員：八丁堀太郎

連絡先：久米 伸一

TEL：03-5543-3016

節電診断報告書

診断日 平成24年6月1日

診断 No. SB120000

1. 診断結果の概要

照明に関してはすでに間引きが実施されていますが、下表は別紙に場所を示す追加分の効果の推定です。また投資は必要になりますが高効率照明への更新をご検討ください。

空調については会議室エリアで未使用時には確実に停止するよう徹底してください。また設定温度は全館であと1℃アップすれば大きな節電が可能です。

提案は比較的小さなものの積み上げですが、確実に実施すれば照明分の積み上げで約3%、空調分で8%になり、全体で貴社目標の10%をクリアできると予想されます。

またデマンド監視装置の導入をお勧めします。使用電力を「見える化」することにより節電が格段に進めやすくなります。

2. 節電提案のまとめ（節電率は最大使用電力に対する比率です）

提案 No.	改善事項	ピーク節電率 (%)	ピーク節電量 (kW)	年間節電電力量 (kWh)	年間削減金額 (千円)
1	デマンドの見える化と節電目標の設定(*1)	目標10	20.00	—	334
2	不要照明の間引き	0.76	1.51	3,470	59
3	不要照明の消灯（不在、未使用時など）	0.28	0.57	1,301	22
4	照明器具を高効率品に交換する	1.87	3.73	8,568	145
5	未使用エリアの空調（冷房）停止	1.68	3.36	3,863	65
6	冷房設定温度のアップ	3.84	7.68	8,830	150
7	日射調整フィルムの利用	1.67	3.33	—	—
8	電算機室、サーバ室の冷房設定温度変更	0.77	1.54	11,563	196
9					
10					
合計	（提案No. 2～10の合計）(*2)	10.86	21.73	37,595	637

※各提案に付記した条件で計算した試算です。計算は表示桁以上の数値を用いており、表示数値による計算とは一致しない場合があります。（*1）の年間削減金額は基本料金の削減金額であり、（*2）は基本料金と電力量料金等の合計削減金額です。

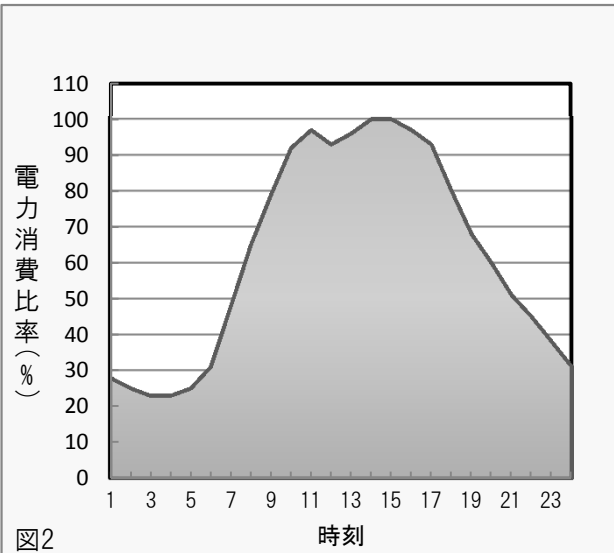
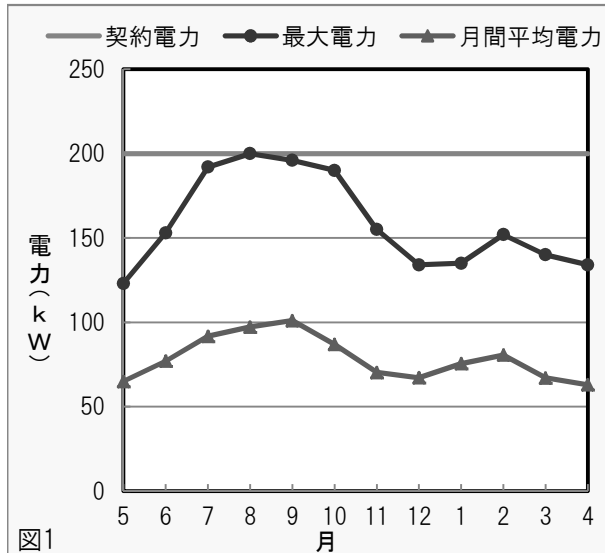
※対象機器には診断申込書記載の電力が供給されているものとして算出しています。記載以外の自家発電や太陽光発電を行っていたとしても含みません。

以下の提案もご検討ください。

参考	改善事項
1	室内に温度計を設置しましょう
2	従業員からアイデアを募集しましょう

計算に用いた基本データ	
p: 7～9月の最大使用電力 (kW)	200
w: 年間使用電力量 (kWh/年)	689,835
y: 電気料金単価 (円/kWh)	16.9
h: 営業・稼働時間 (h/日)	12
d: 年間稼働日数 (日/年)	255
t: 年間稼働時間h×d (h/年)	3,060

3. 電力使用状況



（本図は同業種の電力需要カーブの一例です）